

4 火山防災対策の強化について

【内閣府、総務省、消防庁、文部科学省、国土交通省、気象庁、環境省】

《提案・要望事項》

- 1 火山観測体制を強化し、火山の予兆現象を的確に把握・伝達するとともに、木曽地域に火山専門家等を配置した火山研究施設を設置すること。併せて、火山研究者の育成に取り組むこと。（気象庁、文部科学省）
- 2 火山防災協議会が行う、噴火シナリオ・火山防災マップ・ハザードマップの作成、一連の避難計画の策定等の火山防災対策に対し、技術的及び財政的支援を行うこと。（内閣府）
- 3 火山周辺の携帯電話不感地域解消に必要な伝送路及び電源設備整備に対し、技術的及び財政的支援を拡充すること。（総務省、環境省）
- 4 登山者等の安全を確保するため、山小屋等（民営も含む）へのシェルター機能を付加した整備を補助対象にするなど、火山安全設備に対する技術的及び財政的支援を拡充すること。（内閣府、消防庁）
- 5 火山噴火緊急減災対策砂防計画による対策への技術的及び財政的支援と、浅間山直轄火山砂防事業の一層の促進を図ること。（国土交通省）

【現況、課題等】

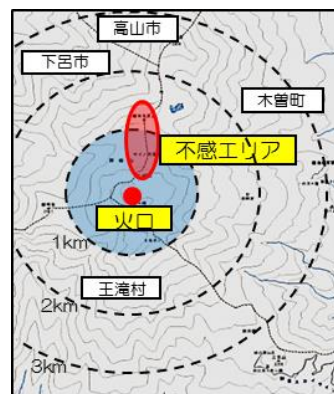
御嶽山の火山災害を受けた活動火山対策特別措置法の改正において火山防災対策に関する警戒避難体制の整備が定められたが、実効的に機能するためには、恒常的な財政基盤と技術・学術面における能力の蓄積に対応するための国からの支援が必要である。

- 1 御嶽山の火山災害の教訓を踏まえ、木曽地域に火山研究施設を設置し、観測体制の強化を図るとともに、火山の予兆現象を的確に把握・伝達できる、研究者・専門家の知見が集積された研究体制を整える必要がある。
併せて、観測・研究体制や火山防災協議会が有効に機能するために、火山研究者の育成を継続して推進する必要がある。
- 2 法改正に伴い、火山防災協議会の設置と業務が定められたが、業務としての警戒避難体制の整備検討に際して、火山現象と防災対策の両面で見識を有する国の専門家等による技術的助言が必要である。
また、警戒避難体制の整備検討の際に必要な火山防災マップ・ハザードマップ、避難計画の策定や、協議会が実施する火山防災訓練などに多額の経費を要するため、国補助制度等の財政的支援が必要である。
- 3 火山周辺において噴火速報等の情報を迅速かつ確実に伝達するため、携帯電話不感地域の解消に向け早急な取組が必要であるが、低採算性、伝送路及び電源の未整備、環境規制が厳しいこと等により、携帯電話基地局整備が困難な状況にある。

現在事業を行っている浅間山と同様、県内の他の火山においても、携帯電話不感地域の早期解消に向けた国の技術的及び財政的支援が必要である。

4 登山者等の安全確保のため山小屋へのシェルター機能の付加等に関する指針が示されたが、アラミド繊維を用いる機能整備に際しては多額の費用が発生するため、国補助制度等による財政的支援と、併せて整備方法に関する専門家の助言が必要である。

5 火山噴火緊急減災対策砂防計画に沿って効果的な対策や準備を行うためには、計画の策定に対する国の技術的な支援や、計画に基づくソフト・ハード対策への技術的、財政的な支援が必要である。なお浅間山については、今般の火山活動の活発化を念頭に、直轄火山砂防事業の一層の促進が必要である。



御嶽山 携帯不感エリア



御嶽山火山災害に伴う山小屋の破損（御嶽頂上山荘）

【長野県の取組】

1 御嶽山の観測、研究における連携体制

会議名	参加機関	協議事項
御嶽山研究連絡会議	名古屋大学、気象庁 木曾町、王滝村、長野県	行政・研究機関間の意見交換 火山に関する各種情報の共有等

2 火山防災協議会への支援

補助事業名	補助対象経費	補助率	H28 補助対象火山
火山ハザードマップ等 作成支援事業	ハザードマップ作成 に係る諸経費	1 / 2 (他県と併せ 10/10)	浅間山（更新） 乗鞍岳（新規作成）

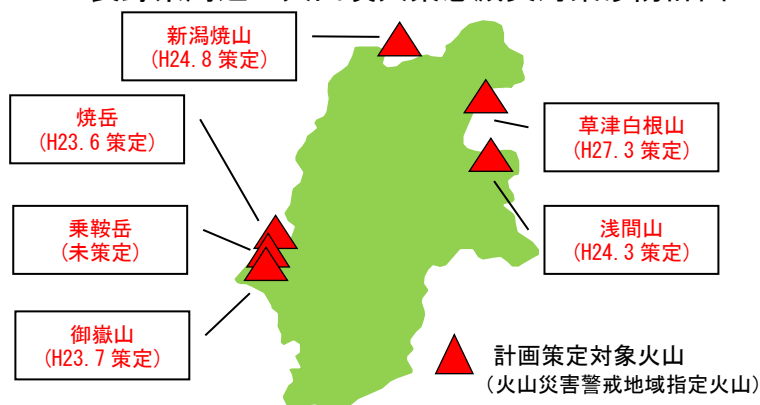
3 浅間山周辺の携帯電話不感地域の解消

区分	事業費（千円）	県補助率
基地局整備（H9以降継続）	36,000	7 / 9（国庫 2 / 3 を含む。）
電源設備整備（H28 新設）	32,400	1 / 6（国庫補助対象外）

4 山小屋の屋根等の強化に対する補助制度（県単独）

補助事業名	補助対象経費	補助率	補助対象火山
活火山登山者安全対策設備整備事業	山小屋の屋根等の強化に係る整備費など	1 / 3 ~ 1 / 2	御嶽山、浅間山 焼岳、乗鞍岳

5 長野県周辺の火山噴火緊急減災対策砂防計画の策定状況



犠牲者が生じた近年の噴火

火山名	噴火年月日	死者数
草津白根山	昭和7年10月1日	2名
浅間山	昭和22年8月14日	11名
浅間山	昭和25年9月23日	1名
浅間山	昭和36年8月18日	1名
新潟焼山	昭和49年7月28日	3名
焼岳	平成7年2月11日	4名
御嶽山	平成26年9月27日	58名